

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	作業療法士学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	作業療法管理学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	昼間部2年	学期及び曜時限	前期	教室名	802
担 当 教 員	鎌田 荘平				
実務経験と その関連資格	作業療法士として重症心身障害児・者施設で9年間、老人保健施設で2年間勤務。 重症心身障害児・者施設で見学実習、評価実習、臨床実習指導者を行う。 日本作業療法士協会、臨床実習指導認定を取得。 2020年度、本学科で実施した臨床実習指導者講習会へ企画・運営・ファシリテーターとして参加。 本学科で学科長・実習委員として、実習指導者会議、セミナー等を企画、運営する。				
《授業科目における学習内容》					
各種保険制度を学ぶ。また、職場管理、作業療法教育における後輩指導など作業療法士としての職業倫理を高める。 評価・臨床実習の目的、到達目標を理解し、他者等の討議を通じ自己の思考や行動傾向・目標を認識し、振り返る機会を持ち作業療法士に必要な倫理を理解する。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験:50% 小テスト:20% 実技試験:30%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
作業療法管理学入門 医歯薬出版 実習手引き、事例集					
《授業外における学習方法》					
授業内容の予習、復習 マネジメントに関する授業です。これまでの関わる経験が少なく内容がイメージしにくいことが予想されます。必ず授業前にいちど通読し、授業内容をイメージした状態で望んでください。					
《履修に当たっての留意点》					
この授業で、作業療法士に求められるマネジメントについて学びます。また、作業療法士に関わる各種制度・倫理などを学び理想とする作業療法士像を作ってください。また、それらの内容を踏まえ、実習で求められることを理解して頂き、実習までの期間、何を頑張れば良いか具体的な課題と目標を立てていただきます。そのためには、自己の思考、行動の傾向を認識すること、そして自己開示することが重要と考えます。自己開示できれば、周囲の友達、先生等も援助してくれます！いっぱい、いろいろな話をしていきましょう!!					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	マネジメントに必要な資源・要素を列挙・説明できる。問題解決の思考を知り、実施できる。作業療法に必要なマネジメントを列挙・説明できる	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 P.2～P.10	
	各コマにおける授業予定	第1章 作業療法とマネジメント			
第2回	授業を通じての到達目標	組織の仕組み・成り立ちを列挙・説明できる。病院組織における作業療法の役割について説明できる。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 P.12～P.22	
	各コマにおける授業予定	第2章 組織の成り立ちとマネジメント			
第3回	授業を通じての到達目標	作業療法士に必要な情報管理やチーム医療・多職種連携の目的・必要性列挙・説明することが出来、必要なコミュニケーションを実施することが出来る。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 P.24～P.34	
	各コマにおける授業予定	第3章 情報のマネジメント			
第4回	授業を通じての到達目標	作業療法士の求められる役割・責任を列挙・説明できる。それを踏まえ作業療法士に求められる医療サービスについて説明、討議することが出来る。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 第4章 P.36～P.46 第9章 P.98～P.106	
	各コマにおける授業予定	第4章 医療サービスのマネジメント 第9章 作業療法の役割と責任			
第5回	授業を通じての到達目標	各種社会保障制度(医療保険・介護保険・障害者福祉)について説明できる。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 P.118～P.132	
	各コマにおける授業予定	第11章 作業療法をとりまく諸制度①			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	各種社会保障制度(医療保険・介護保険・障害者福祉)を踏まえ、作業療法士に求められる業務を演習を通じ討議・計画立案することが出来る	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 P.118～P.132
	各コマにおける授業予定	第11章 作業療法をとりまく諸制度②		
第7回	授業を通じての到達目標	各種社会保障制度(医療保険・介護保険・障害者福祉)を踏まえ、作業療法士に求められる業務を演習を通じ討議・計画立案することが出来る	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 P.118～P.132
	各コマにおける授業予定	第11章 作業療法をとりまく諸制度③		
第8回	授業を通じての到達目標	新人教育・人材育成・作業療法士のキャリア開発の必要性を討議し説明することが出来る。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 第6章 P.58～P.68 第7章 P.70～P.80 第13章 P.146～P.155
	各コマにおける授業予定	第6・7章 作業療法業務のマネジメント①② 第13章 作業療法士のキャリア開発		
第9回	授業を通じての到達目標	作業療法士業務における時間・物・情報のマネジメントに関する必要な要素を列挙できる。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 第7章 P.70～P.80 第8章 P.82～P.96
	各コマにおける授業予定	第7章 作業療法業務のマネジメント② 第8章 作業療法業務のマネジメント～実践からの学び～		
第10回	授業を通じての到達目標	作業療法士・作業療法学生における職業倫理について討議し、必要性について説明できる。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 P.108～P.114
	各コマにおける授業予定	第10章 作業療法士の職業倫理		
第11回	授業を通じての到達目標	アクシデント・インシデント・医療過誤・ニューマンエラーについて説明出来る。医療安全のための必要な方法・行動を知り、列挙・実践することが出来る	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 P.48～P.56
	各コマにおける授業予定	第5章 医療安全のマネジメント		
第12回	授業を通じての到達目標	作業療法教育課程における臨床実習の位置づけ・意味について説明できる。 大阪医療福祉専門学校における実習の目的・意味について説明できる。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 第12章 P.134～P.144 第9章 P.98～P.106 第10章 P.108～P.114
	各コマにおける授業予定	第12章 作業療法臨床実習の理解と管理体制 第9章 作業療法の役割と責任 第10章 作業療法士の職業倫理		
第13回	授業を通じての到達目標	実習手引きから実習規約・実習目的、提出課題・指導要綱が列挙できる。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 第12章 P.134～P.144 第9章 P.98～P.106 第10章 P.108～P.114
	各コマにおける授業予定	第12章 作業療法臨床実習の理解と管理体制 第9章 作業療法の役割と責任 第10章 作業療法士の職業倫理		
第14回	授業を通じての到達目標	事例に対する自分の意見を説明できる。また、他者の意見を聞き、討議できる。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 第12章 P.134～P.144 第9章 P.98～P.106 第10章 P.108～P.114
	各コマにおける授業予定	第12章 作業療法臨床実習の理解と管理体制 第9章 作業療法の役割と責任 第10章 作業療法士の職業倫理		
第15回	授業を通じての到達目標	実習中における自己の思考・行動の傾向を列挙できる。	作業療法管理学入門	作業療法管理学入門 第12章 P.134～P.144 第9章 P.98～P.106 第10章 P.108～P.114
	各コマにおける授業予定	第12章 作業療法臨床実習の理解と管理体制 第9章 作業療法の役割と責任 第10章 作業療法士の職業倫理		